

軽度認知症のリスクを知る

# MCIスクリーニング検査

## ◆ 軽度認知障害とは？

認知症にはいくつか種類がありますが、日本ではその半数以上をアルツハイマー型認知症が占めるとされています。MCI (軽度認知障害)とは、正常な物忘れと認知症の間にあるグレーゾーンです。この段階で放置してしまうと過半数の方が認知症へ移行してしまいますが、MCIのリスクを知り、早期から適切な予防を行うことで認知症への移行を食い止めることができます。



## ◆ MCIスクリーニング検査とは

アルツハイマー病はアミロイドベータペプチドが脳内に蓄積されて神経細胞がダメージを受けることで発症するといわれています。本検査では、このアミロイドベータペプチドを排除する機能を持った**3つのタンパク質**の血中濃度を調べることでアミロイドベータペプチドへの「**防御力**」を算定し、間接的に軽度認知障害のリスクを評価しています。



MCIスクリーニング検査で早期に認知症のリスクを知り、適切な対処・予防を行うことで、認知症の予防が可能になります。



# 報告レポートイメージ

## 【報告レポートサンプル】

MCBゆめ 様の検査結果  
軽度認知障害(MCI)リスク判定

判定	MCIリスク値	測定項目		
		APOA1	TTR	C3
A	0.10	180	25.0	1.50
		mg/dL	mg/dL	Unit

あなたは A 判定です。リスク値は 0.10 です。  
MCIのリスクはほぼありません。  
今後も健康的な生活を心がけましょう。  
1～2年に一回の定期的な受診をお勧めいたします。  
ご自身の状態を定期的に把握して予防に努めましょう

下の図は、健康もしくはMCIと診断された方の人数比(緑:健康、黄:MCI)を表します。  
▲はあなたのリスク値です。▲上の線で、あなたのリスク値での健康もしくはMCIの人数比がわかります。

判定	基準値	説明
A	0.62未満	MCIのリスクはほぼありません。今後も健康的な生活を心がけましょう。
B	0.62～0.72	MCIのリスクは低めです。健康的な生活を意識して、MCIのリスクを減らしましょう。
C	0.72～0.82	MCIのリスクは中程度です。生活習慣を見直し、直ちに予防に取り組みましょう。物忘れなどで気になることがありましたら、専門医に診てもらいましょう。
D	0.82以上	MCIのリスクは高めです。専門医による詳細な検査・診断を受けられることをおすすめします。

<注意事項>  
・本検査は認知症の前段階であるMCIのリスクを判定するものです。  
・MCIの診断を行うものではなく、リスクを判定する検査ですので、認知症予防に向けたひとつの目安となります。  
・MCIリスク値は、測定項目の数値の組み合わせにより算出します。測定項目の値は参考値となります。

## 【別冊資料】

早期発見、早期対策が認知症を予防する

筋力の強い刺激で神経回路がよみがえる

脳内への強い刺激が脳を自覚させるポイント

本冊資料は、認知症予防のための具体的な対策を解説しています。筋力トレーニングや脳トレなど、日常生活に取り入れやすい実践的な内容が満載です。

判定結果はリスクに応じてA～Dの4段階にて報告致します。受診後の認知症予防のための取り組みを解説した別冊資料も提供いたします。

## 検査の受診に関して

■ 判定結果に影響を与える可能性がある疾患について  
認知症の診断を既に受けている方は受診対象外となります。急性障害、急性腎障害、自己免疫性腎疾患などの自己免疫性疾患（急性期）、重度の栄養不良などの方は本検査において影響を受ける可能性がございます。補体タンパク質（C3）の活性化がおきる疾患では本検査の判定結果に影響を与える可能性があります。トランスサイレチン（TTR）は栄養状態で変動します。極端なダイエットなどでは本検査の判定結果に影響を与える可能性があります。

### ■ 検査を受ける頻度

検査結果により必要な頻度は異なります。A判定の方は隔年での検査、B判定の方は年1回、C判定が出たら半年～1年ごとの定期検診をおすすめします。D判定の場合は二次検査を受けていただくことをおすすめしますが、二次検査で問題なかった方でも以降は1年に1回の定期検診をおすすめします。

■ 食事の影響はありません。午前・午後でも受診できます。

## 予約に関するお問い合わせ

MINATO MIRAI  
MEDICAL  
SQUARE

医療法人社団 相和会

みなとみらいメディカルスクエア

TEL : 045-228-2000

検査費用 : 20,000円 (税別)